厚生労働省様 説明資料

ダイキンのDX人材育成

Copyright (C) 2021 DAIKIN INDUSTRIES, LTD.,

2022年8月2日

ダイキン工業（株）情報技術大学 事務局

目次

1. 会社概要

2.ダイキン情報技術大学設立の背景、狙い、概要

3.ダイキンにおけるデジタル人材について

4.ダイキン情報技術大学紹介

Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

企業概要

（2022年3月末現在）

会社名	ダイキン工業株式会社 1963年（昭和38年）大阪金属工業株式会社から社名変更
創　業	1924年（大正13年）10月25日大阪市で創業 創業者：山田晁
設　立	1934年（昭和9年）2月11日
資本金	850億円
グループ従業員数	連結88,698名
会長・社長	会長：井上礼之　社長兼CEO：十河政則
本　社	大阪市北区
グループ会社数	連結子会社322社（国内30社、海外292社）

Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

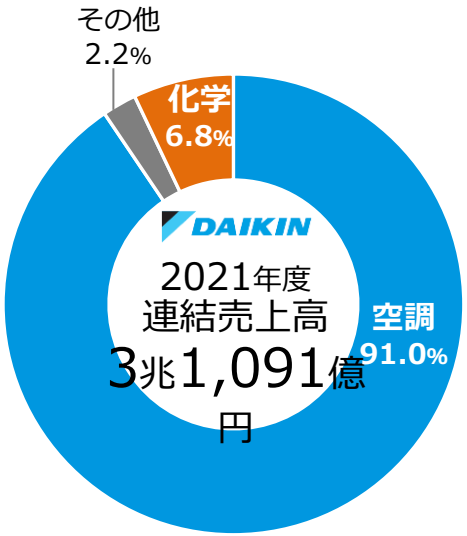
事業内容

空調事業

住宅用

業務用

サービス



その他事業

油圧機器

酸素濃縮機

化学事業

冷媒

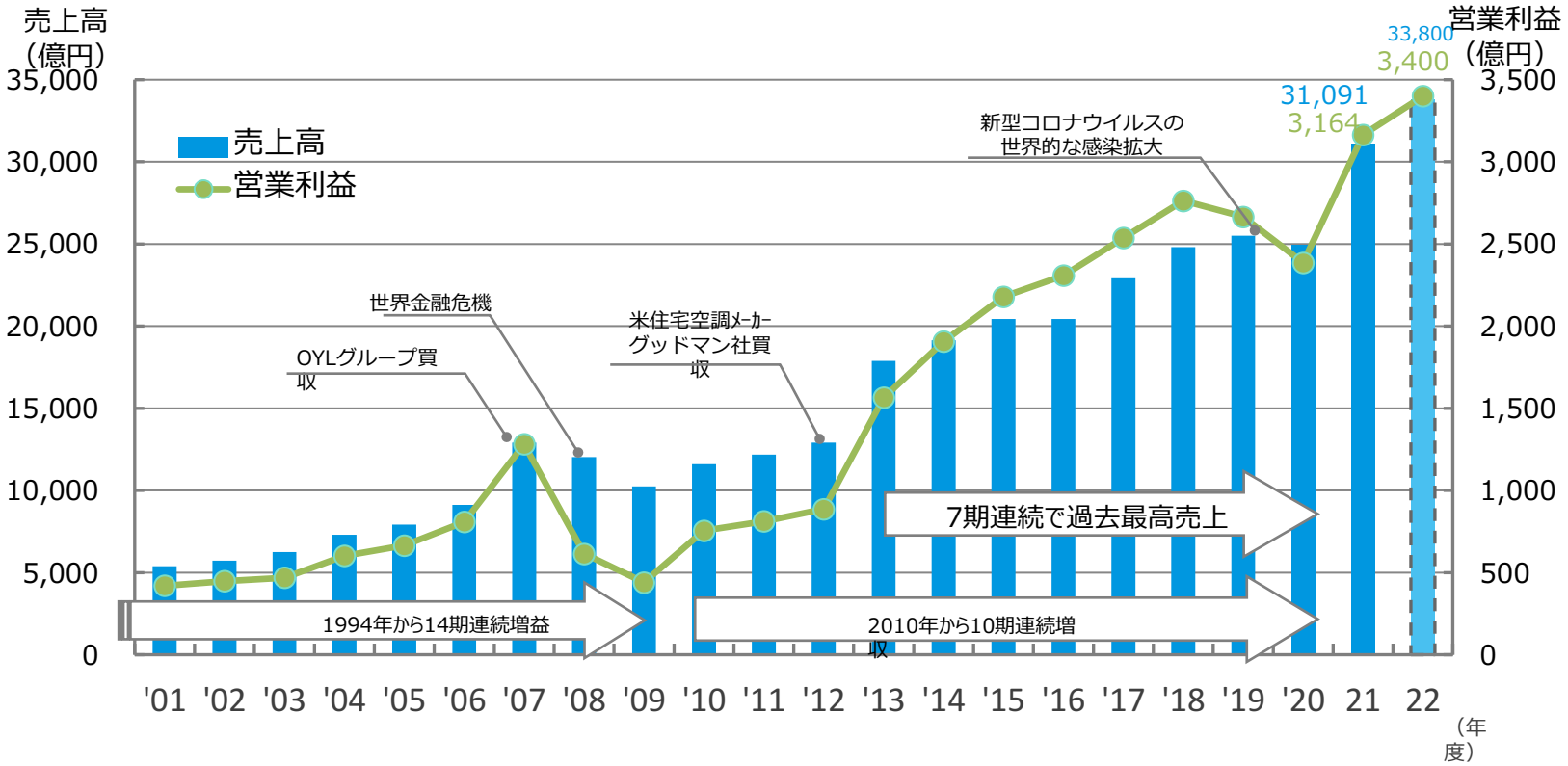
半導体用途

自動車用途

Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

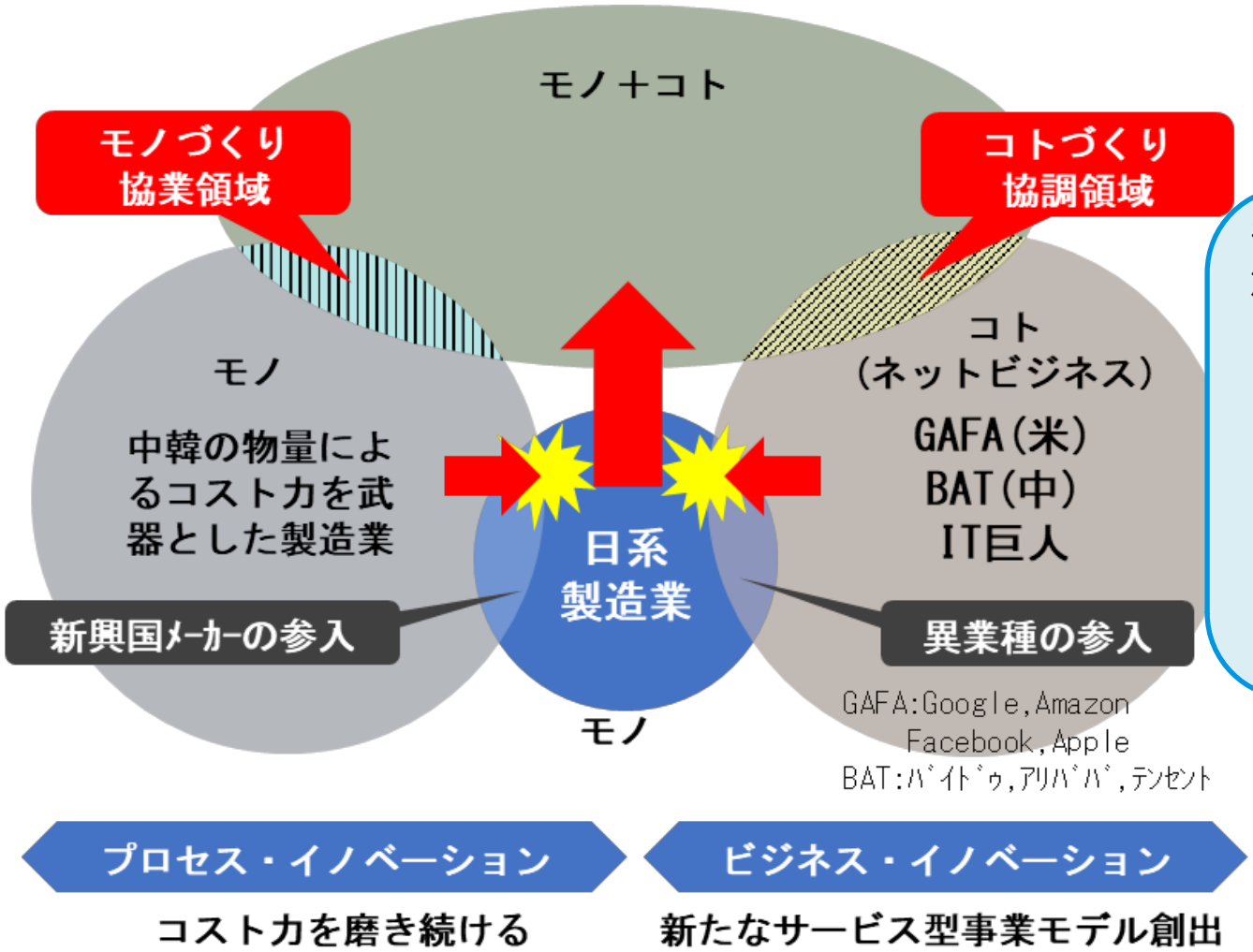
業績の推移

グローバルを中心に事業拡大し、2010年から2019年まで10期連続増収
2021年度で売上高3兆円を突破、2022年度は過去最高の業績をさらに更新



DAIKIN INDUSTRIES, LTD.
Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

2. ダイキン情報技術大学設立の背景

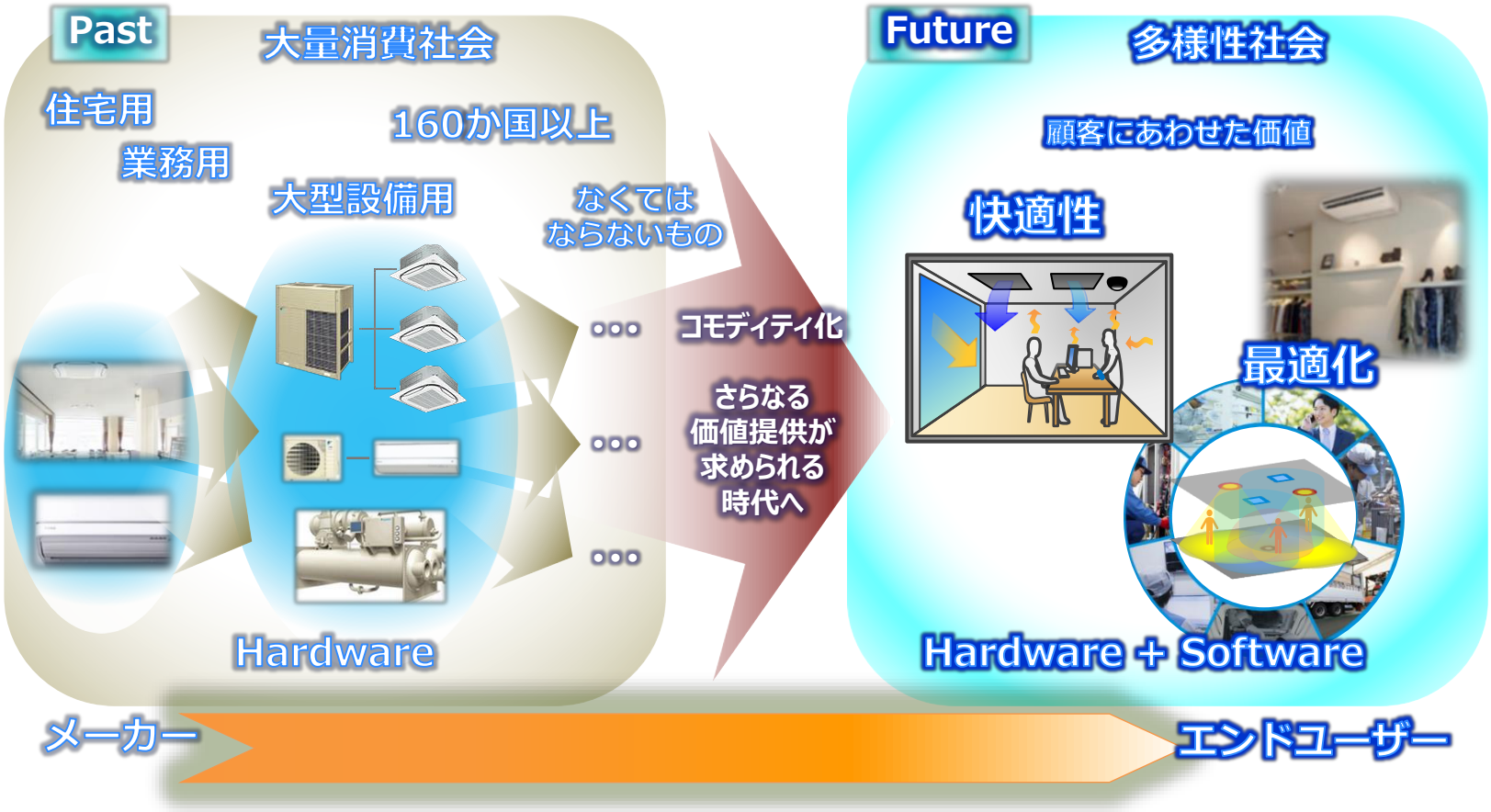


モノ＋コトへ踏み出したいが…

- 当社は空調機の専業メーカのため、IT人材が大幅に不足
- 企業間でのIT人材の獲得競争が激化する中、外部人材獲得も難しい

DAIKIN INDUSTRIES,LTD.
Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

2. ダイキン情報技術大学設立の背景



DAIKIN INDUSTRIES, LTD.
Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

2. ダイキン情報技術大学設立の狙い･概要

◆ダイキン情報技術大学設立の狙い

ＡＩ・データ分析技術は、当社グループにおけるあらゆる部門での活用が期待される重要な技術であり、それを推進する人材の育成は喫緊の課題。

ＡＩ技術の活用を図るためには、
①ＡＩ活用（ビジネス提案力）
②ＡＩ技術開発（ＡＩでの問題解決力）
③システム開発（ＡＩ具現化力）
の３分野の人材がともに必要であるが、大学設立時点では**質・量ともに不足しており、早期に強化・育成が必要**であった。

ダイキン情報技術大学は、上記人材の計画的な育成を目的に**２０１７年１２月からスタート**

DAIKIN INDUSTRIES,LTD.
Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

3. 当社におけるデジタル人材について

『データサイエンティスト』＝以下の３つの基礎スキルを兼ね備えた人材

データサイエンティストにもレベルがあるが、情報技術大学では、
“独り立ち”レベルを目指す

①テーマ実行力（ビジネス力）

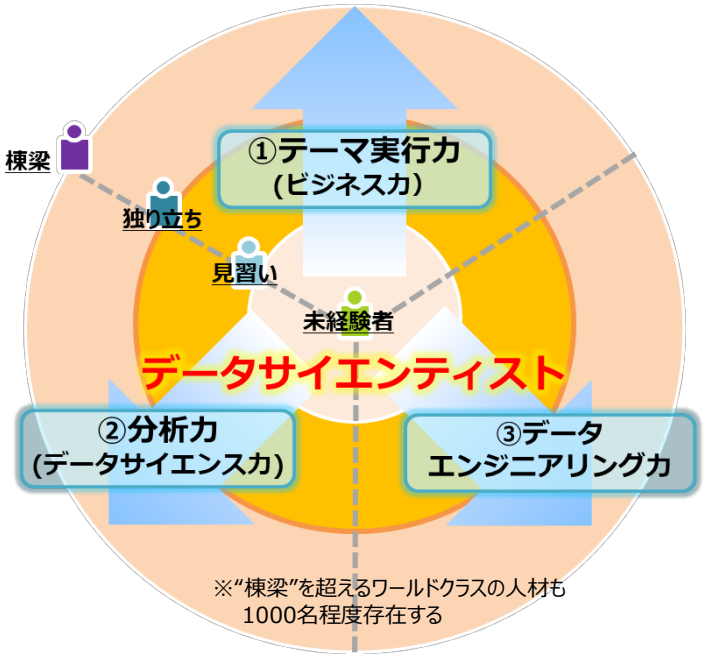
課題の背景を理解した上で、ビジネス課題を整理し、愚直に実行・解決する力

②分析力（データサイエンス力）

情報処理、人工知能、統計学など情報科学系の知恵を理解し、使う力

③データエンジニアリング力

データサイエンスを意味のある形に使えるようにし、実装・運用できるようにする力



DAIKIN INDUSTRIES, LTD.
Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

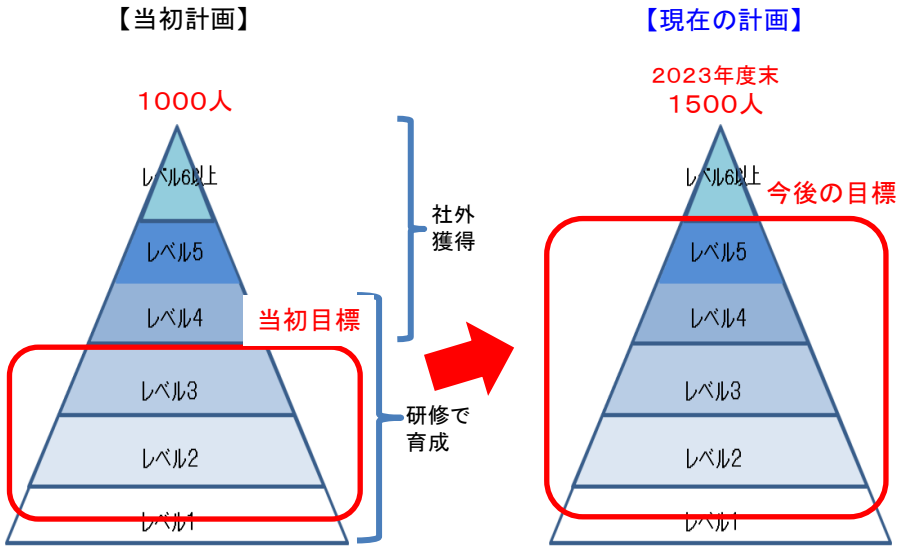
3. 当社におけるデジタル人材について

○ ３年半が経過し**「デジタル技術がわかる人材」「できる人材」の育成は着実に進んできた。**

○今後はこれらの人材が部門で活躍するために**「テーマを企画・推進できるより高いレベルの人材の獲得・社内育成が最重要課題。**

IPA※～スキル標準
レベル7 世界のハイエンドプレーヤ
レベル6 国内のハイエンドプレーヤ
レベル5 社内のハイエンドプレーヤ
レベル4 「テーマを作れる」
レベル3 「できる」
レベル2 「わかる」
レベル1 「知る」

※情報処理推進機構



DAIKIN INDUSTRIES, LTD.
Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

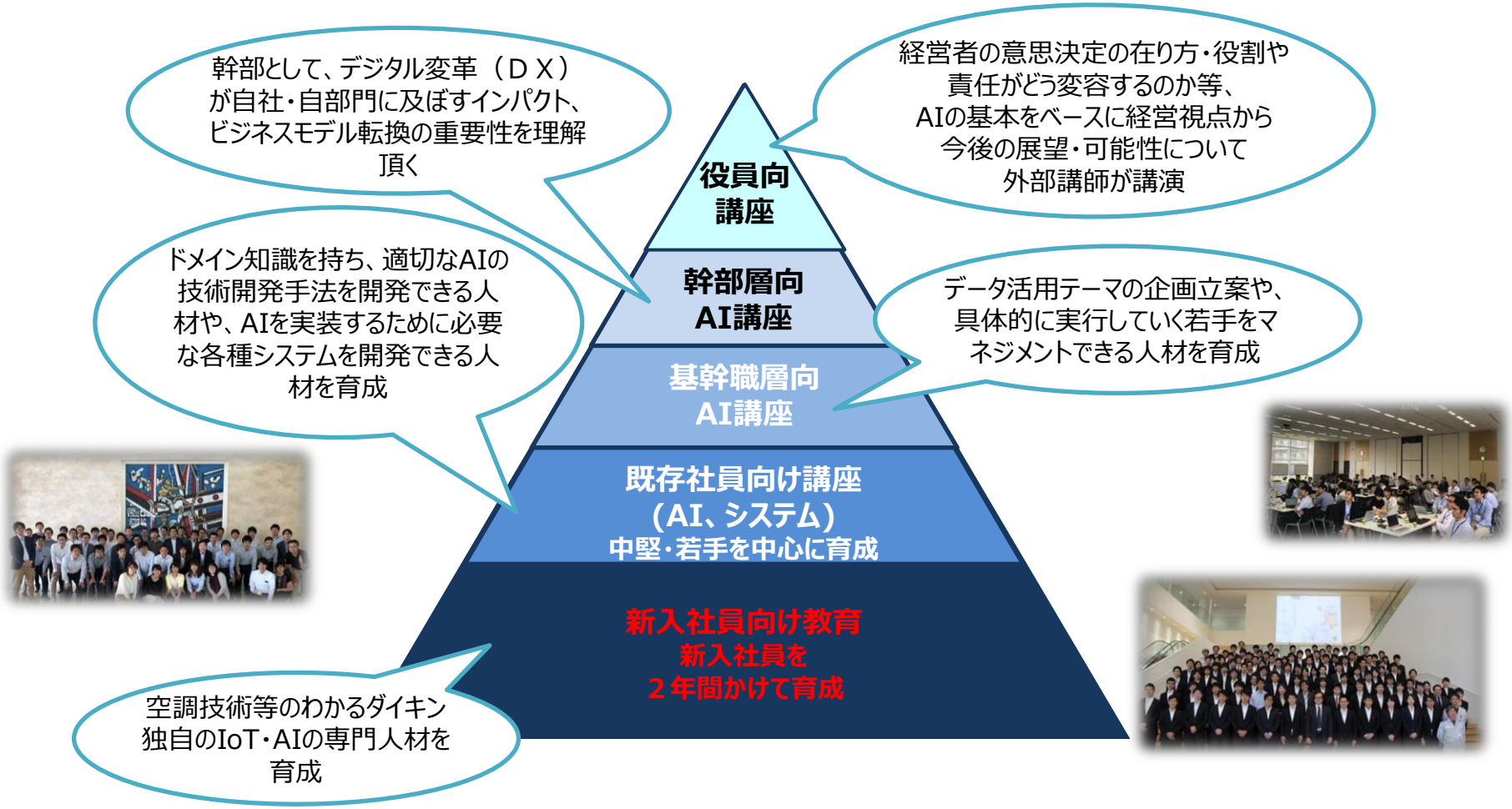
3. 当社におけるデジタル人材について

■最終的に目指す人材像

①**部門横断**で、**全社的視点からデジタル活用推進**に取り組む人
②**従来の事業・サービス・商品の枠を超えたイノベーション**を起こす人
③部門の**固定概念を超えて抜本的な生産・開発・間接業務の改革**に取り組む人

Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

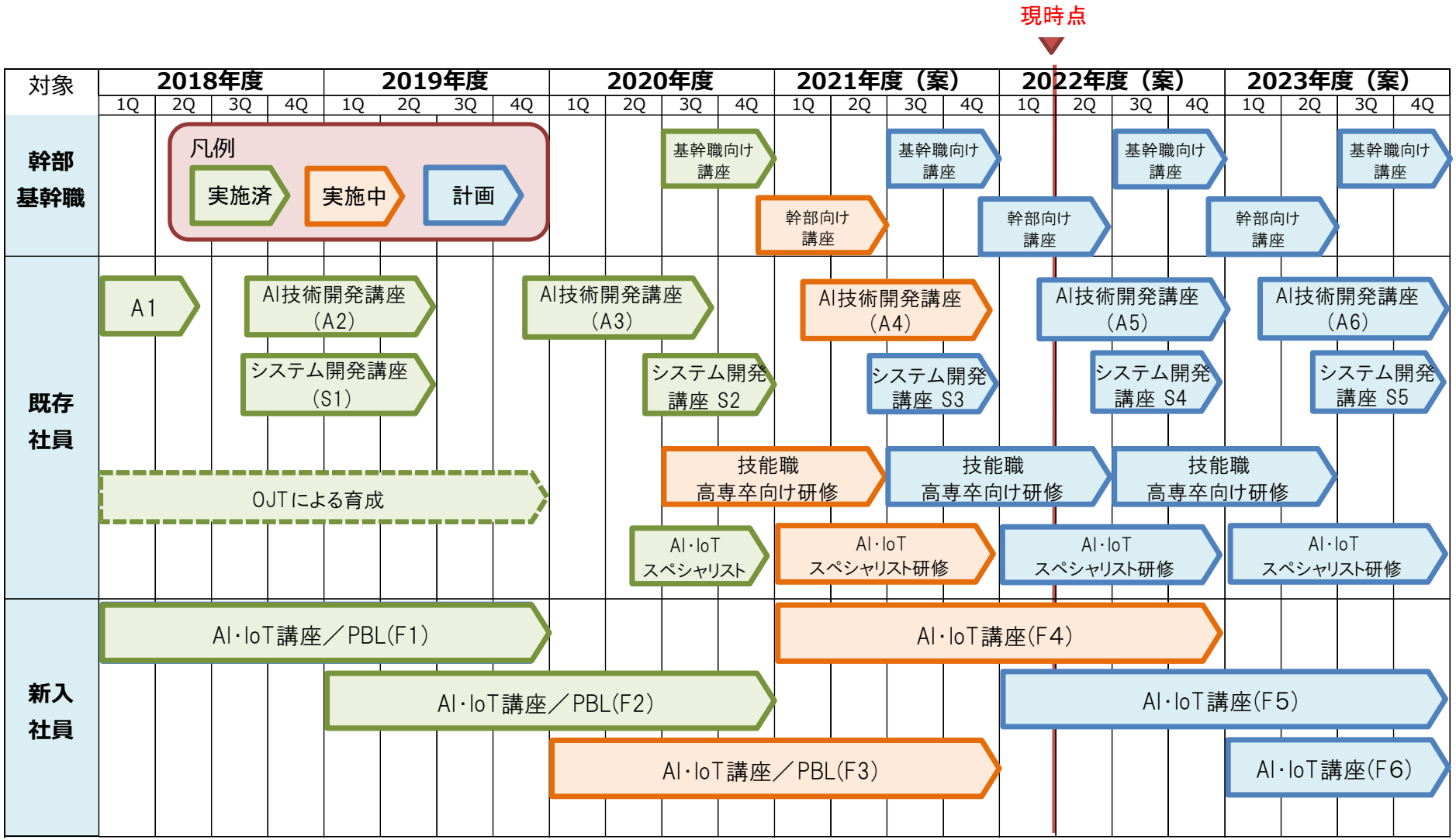
4. ダイキン情報技術大学　講座ラインナップ



DAIKIN INDUSTRIES, LTD.
Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

4. ダイキン情報技術大学　スケジュール

基幹職、既存社員、新入社員毎に2023年度末に1500名の人材育成を目標に下記のように実施中。



DAIKIN INDUSTRIES, LTD.
Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

4. ダイキン情報技術大学　新入社員講座講座

技術系大卒新入社員３００名弱の中から、希望者を100名選抜（2018年度～）
（非情報系が８５％。修士８５％、学士１５％）

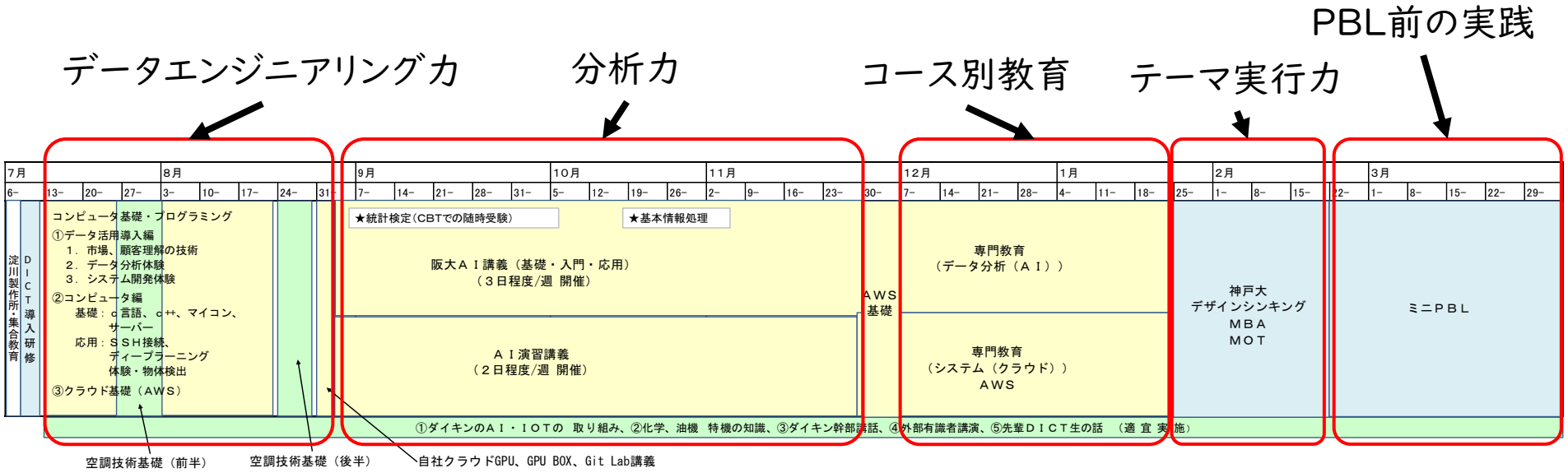
DAIKIN INDUSTRIES, LTD.
Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

4. ダイキン情報技術大学　新入社員講座1年目

【目標】データサイエンティストの３つの基礎スキルが「見習い」レベルになること

・前半：**座学中心の講義**で基礎をきっちり習得させる
(コンピュータ基礎・プログラミング、阪大AI講義)
・後半：**課題解決型中心の演習**にシフトし、部門でのPBLに備える

・コース別教育でデータ分析重点、もしくはシステム構築重点においた、
得意領域を作る教育を実施
・習熟度を見るための**公的試験の受検**(基本情報処理技術者、統計検定２級など)



Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved.

4. ダイキン情報技術大学　新入社員講座1年目

習熟度の確認：資格

〇全員受験

基本情報処理技術者

高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身に付けた者

統計検定2級

大学基礎科目レベルの統計学の知識の習得度と活用のための理解度を問う検定

〇選択受験

JDLA E資格

ディープラーニングの理論を理解し、適切な手法を選択して実装する能力や知識を有している

AWSソリューションアーキテクト-アソシエイト

AWS における分散システムの可用性、コスト効率、高耐障害性およびスケーラビリティの設計に関する 実務経験を持つソリューションアーキテクト担当者

いずれも合格率は、**全国平均を上回る**成績

DAIKIN INDUSTRIES,LTD.
Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved

【参　考】

■ 2018年～2021年　公的試験結果

公的試験結果	１期生 （2018年入社）	２期生 （2019年入社）	**３期生 (2020年入社)**	**4期生 (2021年入社)**
統計検定２級	７８％ （全国平均３８％）	８２％ （全国平均４２％）	**９５％ （全国平均４５％）**	**９２％ （全国平均３４％）**
統計検定１級	３３％ （全国平均２２％）	３０％ （全国平均２５％）	**コロナ禍により 試験中止**	
基本情報処理 技術者検定		６７％ （全国平均２５％）	**７４％ （全国平均２５％）**	**８６％ （全国平均２８％）**
JDLA E資格		８８％ （全国平均６８％）	**９０％ （全国平均７８％）**	
AWSｿﾘｭｰｼｮﾝｱｰｷﾃｸﾄ ｱｿｼｴｲﾄ		６８％ （全国平均非公開）	**４４％ （全国平均非公開）**	

【参考】
◎ **統計検定：**一般社団法人日本統計学会が認定する統計学に関する知識や活用力を評価する検定試験。
◎ **基本情報処理技術者：**高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身に付けた者
◎ **JDLA E資格：**ディープラーニングの理論を理解し、適切な手法を選択して実装する能力や知識を有しているかを検定
◎ **AWSソリューションアーキテクト-アソシエイト：**AWS における分散システムの可用性、コスト効率、高耐障害性およびスケーラビリティの設計に関する 、1 年以上の実務経験を持つソリューションアーキテクト担当者

DAIKIN INDUSTRIES,LTD.
Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, ltd. All Rights Reserved